

No.209
2024年11月1日
滋賀県竜王町議会

りゅうおう

議会だより



決算審査
全力投球

- 定例会報告 P2~ 町総合庁舎別館（現 西館）改修工事
- 委員会報告 P6~ 酷暑の夏、子どもたちを守れ
- 一般質問 P9~ 少子高齢化での小自治会の課題支援は

9月
定例会

予算総額 96億5134万円 に

1億2000万円、ふるさと納税の返礼品等の費用6030万円が計上された。

9月定例会の あらまし

9月定例会が8月30日から9月30日までの32日間の会期で開かれた。

本会議2日目に、条例3件、補正予算5件を可決し、教育委員会委員の任命、公平委員会委員および固定資産評価審査委員会委員の選任について同意した。

なお、令和6年度一般会計補正予算、令和5年度一般会計及び特別会計等決算認定の9件を予算決算常任委員会に審査を付託した。

本会議3日目に、副町長の選任について、榎木栄司氏を再任した。続いて、一般質問を行い、11議員が町政をたじた。

最終日に本会議を開き、工事請負契約の締結3件が追加提案され、令和5年度一般会計等決算認定9議案を含む12議案すべてを原案通り可決・認定した。

交流・文教ゾーンの 造成工事進む

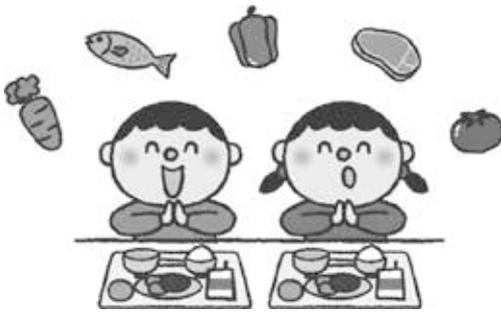
【PRの委員会活動もご覧ください。】



保育施設への支援

食料品価格高騰の影響を受けている町内の保育施設に対し、県の補助金を活用して支援するための費用。

補正額296万円



食材の購入費用に充てられるよ

日野川用水施設 管理協議会への 負担金

農業水利施設の省エネ化およびコスト削減に対して、昨年度からの電気代高騰分を町から協議会へ補助。

補正額157万円



農業水利施設（弓削地先）

令和6年度一般会計補正予算 1億8859万円を追加し、

※「未来につなぐふるさと交電寄附金」の増加を見込むため積立金としてその他の主なものは以下のとおり。

交流・文教ゾーンの各施設整備スケジュール

	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)
竜王小学校		建築	令和7年度末 完成予定		
学童保育所	実施設計	建築	令和7年度末 完成予定		
公園	基本設計 実施設計		整備		
竜王こども園	造成 (上下水道工事含む)			建築	
学校給食センター					建築
コミュニティセンター			建築		
道路および共用駐車場	整備				



町公民館玄関の自動ドア

ホールステージ幕の修繕や玄関自動ドアの修繕などの費用。
補正額71万円

竜王町公民館修繕費



校舎の受変電設備(イメージ図)

校舎の受変電設備の変圧器交換費用。
補正額94万円

竜王西小学校修繕費

第2回臨時会 7月10日

竜王町総合庁舎1階事務室等 改修工事請負契約の締結

契約金額 1億8315万円

全員賛成で可決

質疑

問 ふるさと納税推進のため、中間事業者へ委託しているが、その内容は。

答 返礼品の掲示やPRするにあたり、各サイトに掲示する手続き、返礼品の配送の手配を行って



活かされた?

令和5年度 決算

令和5年度決算は、9月11日から13日の3日間にわたり、施策や事業などのチェック、次年度予算へ反映するための今後の課題などについて予算決算常任委員会で審議した。

令和5年度は、竜王町コンパクトシティ化構想に基づく中心核整備について、

造成事業・新設道路工事、総合庁舎別館の改修や物価高騰などの対策を実施した。

今回は、町総合庁舎別館改修工事・介護予防の推進・コミュニティの維持活性化・田んぼの集約化などを中心に紹介する。

町総合庁舎別館（現西館）改修



改修された西館（1階）



↑詳しくは、広報りゅうおう7月号をご覧ください。

自治会の負担軽減に向けて

自治会からの役員の選出の見直し等を実施した。

例えば、社会教育推進員、男女共同参画推進員など、自治会からの委員の選出を廃止した。

また、今後、近隣の自治会同士での共同開催の事業等も提案された。



県による出前講座

今までより 移動が便利に

チョイソコりゅうおうで、令和5年4月よりJR篠原駅南口まで行けるようになった。



JR篠原駅南口に停車中

物価高騰支援 まだまだ続く

電力・ガス・食料品等価格高騰支援事業として、低所得世帯に対しクーポン券や給付金の支給を実施した。

私たちの税金、どう

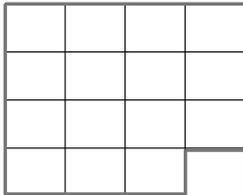
令和5年度一般会計および各特別会計等決算額

(単位：万円)

会計名	歳入		歳出		議決の内容
一般会計	84億2423		81億399		賛成多数により認定
国民健康保険事業特別会計 (事業勘定)	11億3934		11億3279		全員賛成により認定
国民健康保険事業特別会計 (施設勘定)	医科 371 歯科 5592		医科 371 歯科 5195		全員賛成により認定
学校給食事業特別会計	6123		6118		全員賛成により認定
介護保険特別会計	10億1414		9億8741		全員賛成により認定
後期高齢者医療特別会計	1億4561		1億4502		全員賛成により認定
水道事業会計	収益的収入 3億6652 資本的収入 2億4161		収益的支出 3億106 資本的支出 3億7686		全員賛成により認定
下水道事業会計	収益的収入 5億48 資本的収入 2億3337		収益的支出 4億7546 資本的支出 4億885		全員賛成により認定

目標地図作成の手順

①地域計画のエリアを設定



地域計画に含める農地を設定する

②将来の耕作者を決定

A	A	A	A
B	A	A	A
B	B	D	E
C	C	D	

(例) A、B：農業を担う者
C、D：農業を担う者以外の耕作者
E：耕作者未定

農業者の減少が進む中、農地を後世に残し、農業を効率的に営むための将来の農地利用について、話し合いが進められている。
地域計画は、令和5・6年度の2年間で策定する。
※詳しくは、P6の委員会の活動をご覧ください。

田んぼの集約化 (地域計画の策定)



いきいき100歳体操実施中

高齢者保健福祉計画と介護保険事業計画を合わせた「スマイルエイジングプラン」を策定した。だれもが住み慣れたこのまちで安心して笑顔で暮らし続けられるよう、様々な事業を展開する。

健康維持・ 介護予防の推進

問 地域スポーツ・文化クラブ活動で、地域の方が中学校のどの部活動の指導をされているか。
答 部活動指導員は野球部、女子テニス部、バトミントン部、卓球部、バレーボール部に各1名、外部指導者としてソフトボール部、吹奏楽部に各1名である。

質疑



続いている物価高騰

将来の農地利用はどうなるの

9月6日に総務産業建設常任委員会の所管事務調査において、地域計画の策定に向けての状況について説明を受けた。



「地域計画」の策定のあり方は

● 「地域計画」とは

農業者の減少や高齢化に伴い、農地の適切な利用が困難になることが予想され、農地の適切かつ効率的な利用を図るため、農地利用の集約化の取組を進めることが課題である。

このため集落等での話し合いにより、将来の農地利用の姿を明確化する地域計画を定め、地域内外から農地の受け手を確保し、農地中間管理事業を活用した農地の集約集積化を進めるもの。

● 地域計画の策定Q & A

・何を記述するのか

地域農業の将来のあり方（従来の人・農地プラン）に目標地図を作成する。

・なぜ作成しなければならないか

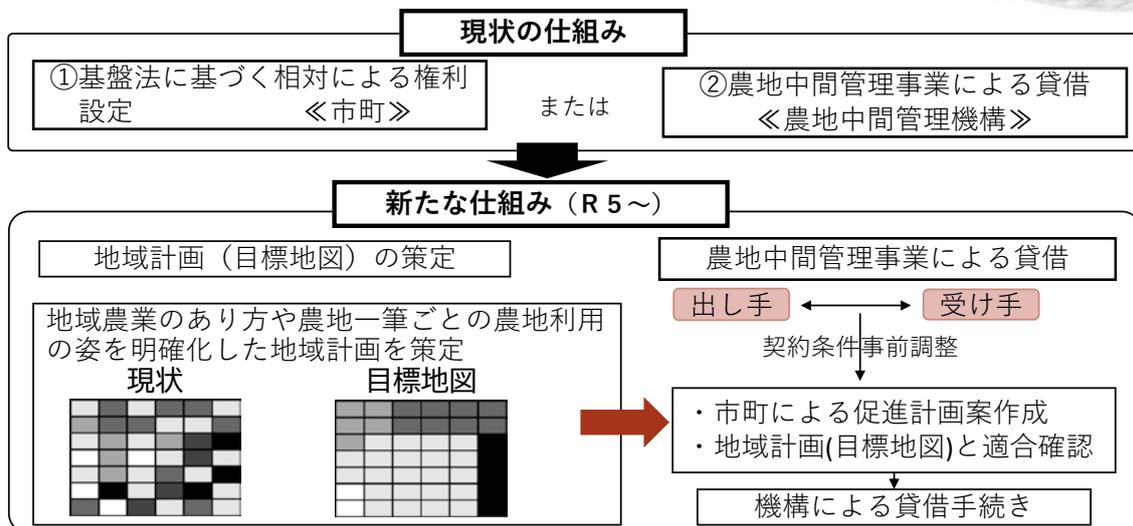
農業者の減少が進む中、農地を後世に残し、農業を効率的に営むため将来の農地利用について話し合い、目指す姿を具体化するため。

・地域計画を作成しないとどうなるのか

国・県から地域への支援が受けられない。

地域計画に伴う農地貸借の主な改正ポイント

1. 農地の出し手・受け手の相対による利用権設定の仕組みの廃止
⇒ 農地中間管理機構を通じた権利設定に一本化
2. 機構による受け手の公募、出し手と受け手のマッチングは廃止
3. 農地一筆ごとに今後利用する担い手を示した「目標地図」を作成
4. 機構による農地貸借は、地域計画（目標地図）に基づき行う



住民の声

地域計画では、これからの農地をどう守っていくかが問われていると思う。

話し合いでは若い人が少しでも興味をもって農業を続けてもらえるようにと思っている。

山中地区 市岡文明さん



町内の田園風景

酷暑の夏、子どもたちを守れ

9月6日に教育民生常任委員会の所管事務調査において、学校・園における暑さ対策について説明を受けた。

調査 学校・園における暑さ対策は

気候変動適応法の改正に伴い、本町の学校・園における教育保育活動中の熱中症予防についてガイドラインが作成された。概要は以下のとおり。

●こども園・小中学校用ガイドライン

- 熱中症特別警戒情報（熱中症特別警戒アラート）発表時の対応

翌日の外遊び、プール等の運動、体育、部活動を中止

- 暑さ指数による活動時の対応

暑さ指数が35以上

外遊び、プール等の運動、体育、部活動を中止

暑さ指数が31以上

外遊び、プール等の運動、体育、部活動を原則中止

暑さ指数が28以上

屋外の激しい運動、持久走等の体温が上昇しやすい運動を避ける。



近江うし丸

暑さ指数 (WBGT) とは、熱中症の危険度を示す指標で、気温や湿度、日射度などを総合的に算出されるよ。



暑さ指数計と警戒レベル

●小学校における教育活動中の熱中症予防対策

- 運動会については、例年より1か月遅く10月19日開催を決定
- 熱中症警戒アラートが下校時に発表された場合は、保護者の迎えの要請や教員の引率による下校等で対応
- 下校時の給水スポットとして、施設や会社に協力依頼



冷凍庫

●中学校における部活動用ガイドライン

活動当日の朝5時の発表時点において、東近江市で暑さ指数が31以上の危険域の予測が出た場合、9時、12時、15時の各時点で運動部活動の有無を確認する。



保冷剤・保冷用ペットボトル等を常時冷凍し活用

※P11・P15に関連記事がありますので、ご覧下さい。

主な質疑応答

問 町内に指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）として指定している施設はあるのか。

答 竜王町総合庁舎、竜王町防災センター、竜王町公民館、竜王町立図書館の4か所を指定している。熱中症特別警戒情報発表時でなくても、必要に応じて自由に休憩が取れる。

中心核整備(交流・文教ゾーン)の公園整備は

9月9日に地域活性化特別委員会で中心核整備(交流・文教ゾーン)について、調査を行い、主に公園整備について、概要の説明を受けた。



公園整備の基本設計は

●業務の進め方

- 町民ワークショップ
 - ・10月、12月、令和7年2月の3回開催
 - ・町のホームページで参加者募集
- 町民アンケート調査
 - ・10月実施
 - ・町ホームページ、広報りゅうおう10月号でお知らせ
- パブリックコメント(意見募集)
 - ・令和7年1月実施
 - ・町民ワークショップ、町民アンケート調査の結果を反映した公園案についての意見募集
- 庁内検討委員会
 - ・各担当部門、課内において基本設計や公園機能の検討



公園整備予定地

●公園整備スケジュール

令和6年度：基本設計
 令和7年度：実施設計
 令和8・9年度：工事実施
 令和9年度：開園予定



↑詳しくは、町ホームページをご覧ください。

主な質疑応答

問 ワークショップの実施方法と公園事業費は。

答 町民の方からご意見をいただくとともに、提案を募集して整備内容を検討し最終決定とする。

公園整備については、国の交付金等を活用し、町の負担軽減に努めたい。

議員定数の削減は慎重な議論が必要！

8月5日に議会改革特別委員会を開催し、こども議会および多賀町議会視察研修結果の報告を受けて議論し、9月9日には議員全員のアンケート調査の結果について話し合った。

議員のアンケート結果は優先度の高い順に

- | | |
|-----------|-----------|
| ①こども議会の開催 | ⑤議員研修 |
| ②議会ICT化 | ⑥一般質問 |
| ③議会報告会の開催 | ⑦議員のなり手不足 |
| ④議員定数 | ⑧その他 |

- こども議会はこども家庭支援室所管の「こどもまんなか会議」および教育委員会と連携して、町制70周年記念行事として進める。
- ICT化推進では導入したタブレット端末の有効利用のため、委員会活動の一環として月1回程度勉強会を行う。
- 議会報告会の開催方法は、議会運営委員会で議論する。
- 議員定数については、視察研修の結果を受け、更なる削減にはより慎重な議論が必要であるため、議論は根底から見直す。一定の結論は令和7年9月頃に出す予定。

町政

ここを問う!

9月定例会では11議員が25問の一般質問を行いました。

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問を質し報告や説明を求めることです。

ページ	質問者	質問事項
10	山田 義明	・山之上地先の開発と道路整備は ・河川愛護事業の対応は
11	磯部 俊男	・新型コロナの発生状況と予防対策は ・町立学校・園の熱中症対策は
12	鎌田 勝治	・行政事務改善委員会の取組は ・放課後児童クラブの今後は
13	橘 せつ子	・中心核整備の財政計画の提示を ・企業誘致と文化財保護のあり方は ※学校給食センターの早期建て替えを ※竜王町公民館のあり方は ※大阪関西万博博覧会への教育旅行の取組は
14	森島 芳男	・女性等に配慮した避難所を ・IBMグラウンド跡地活用の進捗は
15	大橋 裕子	・猪の柵の設置についての考えは ・竜王町における熱中症対策は ※薬師地先の文化遺産について
16	若井 政彦	・基幹産業の農業と農家をどう守るのか ・中心核整備計画の見直しと財政計画は
17	澤田 満夫	・山中地区の活性化は ・少子高齢化での小自治会の課題支援は
18	内山 英作	・東近江地域に新幹線新駅の誘致を ・高齢者への生きがい対策は ※地域のしきたりや慣習の見直しは
19	中村 匡希	・中心核整備費用等の見直しは
	三宅 政仁	・学生通学費助成制度の現状は

各議員のQRコードをスマートフォンで読み取ると音声配信が聴けるよ



近江うし丸

※紙面の都合上、掲載しておりません。

QRコードから、全ての質問がお聴きいただけます。

次回の一般質問は

令和6年12月18日(水)予定

※日程は変更になる場合があります。

※議員の質問順は町ホームページでご確認ください。

問 議会事務局 電話 0748-58-3713



やまだ よしあき
山田 義明 議員

問 山之上地先の開発と道路整備は

答 事業者があれば実現できる



山之上地先の住宅予定地

問
① 主要地方道彦根・八日市・甲西線に近接する惣四郎川に囲まれた地域は、町内の住宅地開発の候補地だった。今後の町の取組は。
② この地に隣接する国道477号の歩道設置は県の継続工事で本年完成と聞pegが、いつになるのか。
③ 山之上南交差点は、横断歩道が片方向のみで、反対側にも設置できないのか。

答
① 当該地は現在も住宅地の候補地で、今後、事業者があれば実現できるように準備している。
② 国道477号の歩道は、現場精査で当初予定の施工方法では交通に支障があり、設計および施工方法の再検討を9月中にまとめる。
③ 事業の全体計画では両側歩道整備も含まれており整備の見通しが立った段階で、県および公安委員会と協議を進めたい。



法教寺川の河川愛護事業

問 河川愛護事業は、高齢化等により作業が難しい状況になり、住民の声に対して町の対応は不十分である。
町には、中小の河川が多くあり、その堤防には草木が茂り、景観や災害防止にはその対策が必須だが、町の対応は。

答 区長会では、各自治会の条件や事情に差異があり、地域の実情にあった良い方法をされるよう自治会長と相談しながら、サポートをする旨を周知し、人力以外の機械の活用を提案している。当事業は、行政と地域の自主活動による住民等との役割分担のもと、協働で河川管理を行い、堤防等の機能維持を実施している。今後も大型機械による除草範囲拡大等、県と連携しながら支援に努める。

問 河川愛護事業の対応は

答 県と連携し支援に努める



いそべ 磯部 としお 俊男 議員



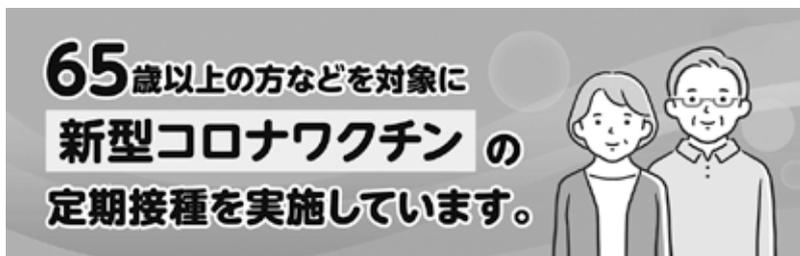
問 新型コロナの発生状況と予防対策は

答 ワクチン希望者が接種しやすい体制に努める

- ② 令和6年10月から令和7年3月を予定。
- ③ 65歳以上の人と、60歳から64歳までの人で身体障害者手帳1級を所持されている人である。
- ④ ワクチン接種費用は、自己負担金として2100円としている。
- ⑤ 手洗い、手指消毒、換気、飛沫感染を防ぐ咳

答 ① 「滋賀県感染症発生動向調査」により1週間の患者報告数を直近情報とし、感染状況を把握している。また、町内医療機関では、5類感染症に移行後に、新型コロナウイルス患者の受診者数が7月中旬から8月上旬にかけて最も多く、現在は減少傾向にある。

問 ① 町での感染状況は。
② 新型コロナワクチン接種時期は。
③ ワクチン対象者は。
④ ワクチン接種費用は。
⑤ 感染者予防に係る啓発等は。



引用：厚生労働省のウェブサイトより

エチケットなどの基本的な感染対策の啓発を行っていく。
併せて、ワクチン接種を希望される方々が接種しやすい体制を整えるよう町内医療機関とも連携して取り組む。

問 町立学校・園の熱中症対策は

答 熱中症ガイドラインの徹底遵守で取り組む

問 ① ガイドライン対応は。
② 学校行事における対策は。
③ 授業中の対策は。
④ 下校時での対策は。

答 ① 主として、暑さ指数(WBGT)を対応の判断基準としている。学校園現場の実測値に基づき、室外や屋外活動の対応を図っている。
② 小中学校の運動会、体育大会は今年度、中学校は2週間遅らせ9月下旬、小学校は1か月遅らせ10月19日に変更した。
また、中学校では夏季休業中に教員の出勤時間を1時間早め、涼しい時間帯に部活動を実施する。
③ 暑さ指数の数値に基づ

き学習活動での柔軟な対応と、子ども達が自分の体調に合わせて随時水分補給することを周知している。
④ 小学校では下校途中にある公共施設や企業に児童の休息場所としての協力を依頼している。

また、下校時での警戒アラート発表時は保護者のお迎え、教員の付き添い等に対応している。
熱中症のガイドラインの徹底遵守と児童、教員、保護者に対する啓発周知に努めている。



日よけ対策をした外遊び (竜王こども園)





かまだ かつじ
鎌田 勝治 議員

問 行政事務改善委員会の取組は

答 一定の成果を上げたと評価し
さらに取り組む



行政事務改善委員会の様子

問

- ① 活動の評価は。
- ② 全ての目標は達成できたか。未達成の場合は、その原因と課題は。
- ③ 新たに組織された委員会の活動状況は。
- ④ 各委員の評価に対する具体的な取組は。
- ⑤ 具体的な取組ができていない場合、その理由と今後の方針は。

答

- ① 短期目標全てを達成する等、一定の成果があったと評価し、若手職員の事務改善での意

識醸成につながったと総括している。

- ② 目標達成に向けて、引き続き関係する部署において検討を重ねている。
- ③ 新組織は未設置だが、未達成の課題を関係部署で随時検討している。
- ④ 職員がスキルの向上等を果たした場合、人事評価システムにおいても反映できている。
- ⑤ ファイルサーバー上に事務改善の取組に対する意見、提案を自由に書き込める場を設けた。

問

- ① 新しい学童保育所の開設に合わせて、指定管理者制度の導入に向けて検討に着手した。
- ② 児童の保護者ニーズを的確に捉え必要なサービスを提供できるか。利用される児童の事を第一に考え、安全で適切な遊びおよび生活の場を提供できるか。施設の有効活用および効率的な運営が可能かなど、児童の心身の

問

- ① 運営を町の指定管理にする考えは。
- ② 指定管理にした場合、町として留意すべき点は。
- ③ 一人親家庭等に対する更なる支援を行うなど、今後の学童保育に対する考えは。



新設された学童施設（竜王小学校）

健全な育成ができる能力のある指定管理者を選定することが肝要と考えている。

- ③ 近隣市町や社会状況を見定めつつ、一人親家庭の支援のあり方について取り組む。

問 放課後児童クラブの今後は
答 本町に即した指定管理者制度を研究する



たかはし 橋 せつ子 議員



問 中心核整備の財政計画の提示を

答 それぞれの時期にその都度示す



進む中心核整備

問 何度も中心核整備の財政計画の提示を求めてきたが、町はずっと「その都度示す」と言われ、町民が心配している財政の見通しは明らかにされなかった。しかし町長選挙中に町長は「財政計画はあります」と言われていたが、町民に中心核整備の進捗と財政計画を示し、丁寧な説明をするべきでは。

答 中心核交流・文教ゾーン整備の概算予算は約83億円（国県の補助金約16億円、町債約50億円、一般財源約17億円）と見込んでいる。町債の償還については3年据置き、30年償還、令和13年頃にピークで年間約2億3千万円の償還予定。中長期の財政計画についてもそれぞれの時期に示す。整備の進捗も適切な時期に、町民の方知らせていく。

答 産業拠点の適性を把握するため、各種調査を実施し、候補地に遺跡包蔵地があることも認識しているが、竜王ICからのアクセスや立地に対して地権者に肯定的な意見が多いことから最適な候補地と言える。関係機関

問 今回、新たな企業誘致と示された場所には、地域の歴史遺産として大切にされてきた古墳や遺跡が数多く含まれている。竜王町は緑と文化の町として町民憲章にも掲げられているが、このような地域をなぜ開発地区に入れるのか。また古墳や遺跡などはその周りも含めて歴史遺産と考えるが、周りが私有地として開発された場合の対応は。

とも連携しながら適切な企業誘致につなげる。開発行為と文化財の関係は、開発と保護を相反する対立軸で捉えるのではなく、一体的な関係と位置付ける。対象地の文化財や必要

に依じてその周辺の景観についても、その希少性、歴史上の重要性等を見極め、「守るべき文化財は保護する」考え方を堅持する。文化財の保護と開発のバランスを図っていく。



近江国薬師山四国八十八ヶ所霊場

問 企業誘致と文化財保護のあり方は

答 文化財の保護と開発のバランスを図る





もりしま よしお
森島 芳男 議員

問 女性等に配慮した避難所を

答 配慮した避難所の運営に努める



避難所設営訓練（竜王西小学校）

問 災害時の避難所では、女性の視点を取り入れた運営が求められている。男性が課題に気づきにくい場合もあり、女性や乳幼児、高齢者らが安心して過ごせるように工夫する必要がある。

答 竜王町地域防災計画では、「男女のニーズの違い、男女双方の視点等に配慮する。避難所にお

ける安全性の確保など、女性や子育て家庭のニーズに配慮した避難所の運営に努める」としており、女性等への配慮の必要性について、町としても深く認識している。

職員、避難所運営に関わってもらう自治会などの地域住民が共有することが重要である。

避難所運営の研修を重ねるとともに、避難所における女性への配慮すべき事項について、避難所運営マニュアルなどに反映していけるよう努めている。

答 本町と土地所有者である日本IBMとの協議状況は、代理人である弁護士と協議を進めている。本町の対応として、住宅地整備の有力地として地区計画をしている。

地元自治会3役に意見を伺い、様々な意見をいただき、住宅地以外の用途については是非を判断することはできないという

問 令和5年第2回定例会において、「現在の状況について」質問した回答では、「現在可能性を含め、協議を行っている状況である。その他の用途の可能性も視野に入れたつ、引き続き土地所有者等と協議を進めてまいりたいと考えている。」と答弁されたが、その後の進捗状況は。

問 IBMグラウンド跡地活用 の進捗は

答 土地所有者と協議を進め課題の解決に努力

ことであつた。

本町としては、引き続き土地所有者等と協議を進め、山積する課題を解決し、住宅地以外の可能性も含め有効な土地活用を図っていく。



開発が待たれる鏡地先



おおし 大橋 ゆうこ 裕子 議員



問 いゆい ざく 猪の柵の設置についての 考えは

答 おり 檻の設置や注意喚起に努める



檻に捕獲された猪

問 有害鳥獣の猪が最近多くの被害を出している。農地保護のための有害鳥獣対策の柵が設けられ、一定の効果を得ているが、国道8号以北の鏡、松陽台等農地のない所は柵を作ることができない。

答 猪、鹿用侵入防止柵設置は、農作物被害防止を目的に竜王町獣害対策協議会が国からの交付金

を受け、資材を準備し、要望された自治会による直営施工で柵が設置される。柵の補修や周辺の除草等の管理についても自治会により行われている。しかし、農地のない地域では現在、国の交付金対象となっていないため、獣道への檻の設置による捕獲や、防災無線などを活用し、注意喚起や情報提供に努めている。

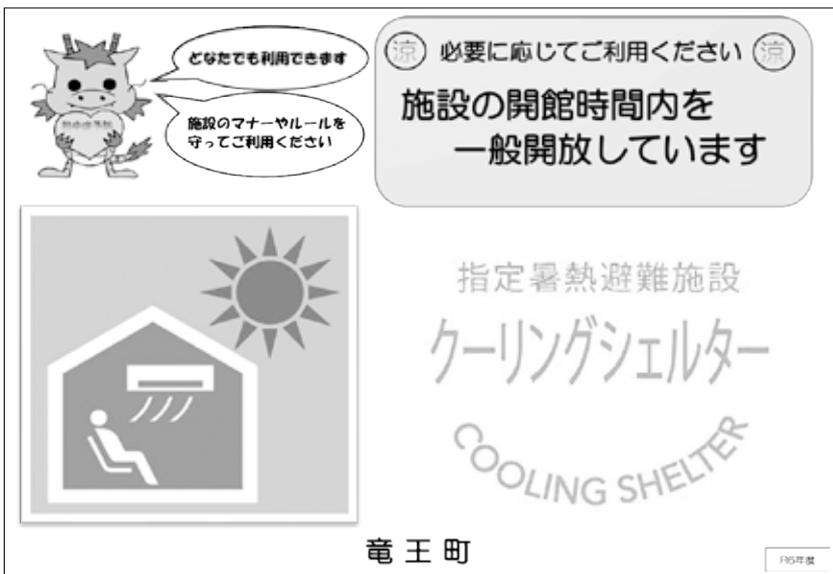
町外では緩衝帯を設けているところもある。今後も竜王町猟友会との連携を図っていく。

問 熱中症警戒アラートが出た時には防災無線、「しるみる竜王」にて町民に情報発信を行い、意識づけを図る。また「指定暑熱避難施設」は高齢者やエアコンを使用できない方に冷房の効いた空間に避難できるように、竜王町総合庁舎、防災センター、公民館、図書館を指定し町ホームページ等で公表している。

問 近年地球の温暖化が進み、今年も酷暑となった。国において気候変動に適應する法律が今年4月から施行された。

問 竜王町における熱中症対策は 答 指定暑熱避難施設などを指定

企業に、児童の休憩場所としての協力依頼をしている。下校時間帯の熱中症警戒アラート発表時には、保護者のお迎え依頼、教員の付き添い下校等の対応、さらに日傘や帽子の着用の指導もしている。



指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）に貼られているポスター

問 基幹産業の農業と農家を どう守るのか

答 地域・まちづくりの視点で取り組む



わかい まさひこ
若井 政彦 議員



農地の維持管理に欠かせない草刈り

問

- ① 獣害対策と生産性向上の取組の成果は。
- ② 担い手や後継者育成の取組の成果は。
- ③ 地域計画の現状と課題は。
- ④ 基幹産業は「農業」であることにゆるぎはないか、その根拠は。

答

① 獣害対策は、引き続き猟友会の協力を得て、連携し取り組む。生産性向上に関し、スマート農業導入補助を創設している。

② 現在、集落営農で5集落を支援、青年就農支援で2名が新規に就業された。

③ 7月末で6地域が策定した。今後も時点修正など進捗管理が必要である。町としての地域づくり、まちづくりの視点で取り組む。

④ 面積の約3割を農地が占める本町にあつては、これらを良好な状態に維持管理し、食の中心となる農産物の生産を行うことが本町の基幹産業である根拠に足るのである。

答 新小学校、こども園、児童保育施設、学校給食センターは、コンパクトシテイ化構想の中で施設の再整備が計画され、一体的に整備することでより子育て環境の向上に資すると考えている。

交流・文教ゾーンの整備以外に、今後の町の公共施設等の大規模改修、長寿命化等の建設事業お

問 町の予算規模をはるかに超える新小学校等建設事業費83億円に、住民は「大丈夫か？」と心配している。

居住ゾーン、複合ゾーンは事業費・時期ともに全く不透明である。

計画の見直しと経費節減への考えは。

不安を払拭する財政計画を住民に明らかにすべきでないか。

よび既に借り入れている償還も含め、財政健全化について現時点で試算すると、適切な財政運営が可能である。



新小学校造成工事は進んでいく（図書館北側）

問 中心核整備計画の見直し と財政計画は

答 現時点では適切な財政運営が可能





さわだ みたお
澤田 満夫 議員



問 山中地区の活性化は

答 山林は公図混乱地で境界の特定が困難

問 山中地区の広大な山林を含めた有効的な土地利用の検討は。

答 町道八重谷甲西線周辺は、保安林と普通林が混在し公図混乱エリアである。土地の有効利用には、まず敷地同士の境界が確定されなければならぬ。土地の特定は、当該地の全ての土地所有者の理解と協力がなければ実現できず、大変困難である。

山中集落やさくら団地に隣接した農地は、第七次竜王町国土利用計画の

土地利用構想図において住宅用地として位置付けている。一方、周辺には過去に民間によって開発

を計画されたが完成には至っていないエリアがあり、町として大きな課題と認識している。

交通インフラにおいて

は【仮称】野洲竜王湖南広域幹線道路を野洲・湖南・竜王総合調整協議会で要望している。山中橋付近の交差点改良は、この幹線道路のルートと関連してくる可能性があるため県としっかり連携していく。



境界確定が困難な保安林と普通林が混在する山中地区

問 少子高齢化での小自治会の課題支援は

問 少子高齢化での小自治会の課題支援は

答 自治会と町が自立した関係を基に支援

問 小集落の維持活性化の課題に町としてどう向き合っていくのか。

答 人口減少や生活スタイル、価値観の多様化等により自治会運営が厳しくなっている。町では、課題解決に「自治会×行政」「自治会×区民」「自治会×自治会」のステーション別に取り組んでいる。

特に「自治会×区民」は、重要且つ大変難しい。その中で、対策の一つの自治会間の連携は、話し合いが進んでいき、必要であれば支援していく。

歴史と伝統の継承については、自治会と密接に関係することから、自治会内での話し合いの中で議論の整理を支援する事は町として可能である。また、集落支援制度として「竜王町未来へつな

ぐまちづくり交付金」が援加算を行っている。ある。この制度は、自治会ごとに各世代の人口割以外に均等割や地積割等に加えて、小自治会に支

援が必要か、自治会と町が自立した関係を基本に支援していく。



どうなるのか若者の少ない小自治会運営 (一般的な日本の田園地帯風景)

問 東近江地域に新幹線新駅の誘致を

答 住民合意を得るのは相当難しい



うちやま えいざく
内山 英作 議員



桐原橋付近を走行する新幹線

問 本町の定住振興や観光振興にとって、JR篠原駅から近距離での東海道山陽新幹線新駅の誘致は、絶好のチャンスである。滋賀県に2か所目の新駅誘致についての町長の考えは。

答 新幹線車両改良での運転速度の向上により「京都〜米原」間では待

避駅を整備する必要性が無く、JRが主体的に新駅設置に取り組むことは考えにくい。地元が建設費用を全額負担する請願駅での設置しか望めず、物価高騰も相まってその負担は多大になると見込んでいます。このようなことから、本町も含め関係市町で住民合意を得るのは相当難しい。

問 高齢者への生きがい対策は

答 『竜ウォーク』通じて生きがい支援

問 竜王スマイルエイジングプラン2024では、高齢者がいつまでも住み慣れたまちで暮らしていけるよう各施策を展開していくとされている。その中の基本施策2「生きがいのある暮らしへの支援」として、町で取り組んでいる主な事業と課題や対応策は。

答 本町が社会福祉協議会に委託している生涯現役事業「いつまでも元気クラブ」がある。ここでは、健康麻雀、ヨガ体操、節・神経などの運動器等の低下を予防する取組が重要であり、その対応策として『竜ウォーク』の

一方、課題の一つとして、介護認定率が低下傾向にあるが、数年後には

介護や支援を必要とする高齢者が急増する可能性がある。まずは、骨・筋肉・関



健康麻雀（生涯現役事業）

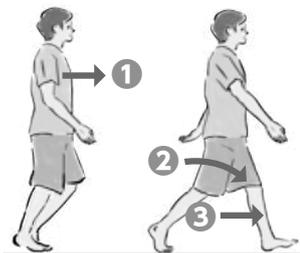
「竜ウォーク」の一例

歩くことで身体と心は健康に

【胸から歩こう】

歩行という足を出して進むイメージがありますが、実際は上半身が先に進みます。胸から歩くイメージです。

①上半身が先に前に進み、②それに伴って支えている側の脚が前に倒れます。この倒れる力が前方へ進む力になります。③上半身を追いかけるように反対の脚が出ます。



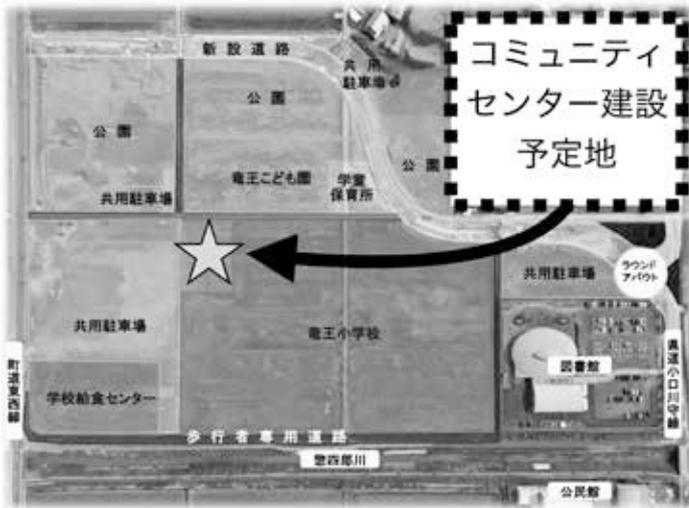


なかむら まさき
中村 匡希 議員



問 中心核整備費用等の見通しは

答 適切な財政運営が可能である



新小学校横に建設予定

- 問** 中心核整備費用が55億円から83億円になったことを踏まえ次の点を伺う。
- ① 実質公債費比率の見直し。
 - ② 他事業への影響は。
 - ③ 83億円にはコミュニティセンターの整備費は含まれるのか。
- 答**
- ① 町全体の起債の償還は令和15年度頃にピークを迎え、公債費全体は年間で約7.5億円となる。実質公債費比率は令和17年度頃に16%となる見込みで、適切な財政運営が可能である。
 - ② 整備費の増加による他事業への影響は少ないと考えている。
 - ③ 整備費の一部が含まれているものの、総額については今後、町公民館の機能をどのような形でコミュニティセンターに付加するか検討する中で精査していく。



みやけ まさひと
三宅 政仁 議員



問 学生通学費助成制度の現状は

答 町内の高校生の約24%が利用

① 制度開始時の通学定期の最高額が1万9960円で、満額補助も考えたが、定期システムが当時は区間定期であり、町外を発着する違う路線バスに乗り換える場合は補助できないため上限を1万円とした。なお、現在は定期システムは金額式定期となり定期記載の金額内の区間であればどの路線も利用可能。また、定期代の平均は1万6000円であり、ほ



通学費が助成されている路線バス

- 問** 近江鉄道バス・タクシー共同で全学生を対象に通学定期代の補助および夜間特別便の運行を行っているが、次の点を伺う。
- ① 半額補助および補助上限1万円の根拠は。
 - ② 制度利用者の割合は。
 - ③ 補助対象外の割合は。
- 答**
- ① 制度開始時の通学定期の最高額が1万9960円で、満額補助も考えたが、定期システムが当時は区間定期であり、町外を発着する違う路線バスに乗り換える場合は補助できないため上限を1万円とした。なお、現在は定期システムは金額式定期となり定期記載の金額内の区間であればどの路線も利用可能。また、定期代の平均は1万6000円であり、ほ
 - ② 町内の高校生の約24%、85名が利用。
 - ③ 一概に補助対象外の割合は出せないが、約30名程度の方は制度利用が難しいと思われる。これらの方は、他の自治体のコミュニティバスを月6000円で利用できる。
- 今後は、路線バス等の公共交通維持のため、利用者増加を図る。

笑顔で広がる竜王町応援隊

令和元年11月、道の駅竜王かがみの里は、地産地消の推進や食品ロス削減に取り組む「SDGs宣言」をされました。

私は、この記事を見て、道の駅もお客様もわたしたちもみんなが笑顔になれる取組として「貝たくさんみそ汁（150円）」と「竜王産のごはん（100円）」を販売して応援したいと思いました。

現在のメンバーは12名。野菜切と販売のチームを組み、第1・第3日曜日の販売に頑張っています。

笑顔で「おいしかったわ」と言って頂くことに喜びを感じ、大きな声での呼び込みや知

えがおのポパイ 代表 大前セツ子

らない方との触れ合いが認知症予防に繋がるなら最高の場所だと思います。

ランチ会で意見交換をしながら見直しにも余念がありません。これからも「笑顔で楽しみながら」をモットーに進みます。



発行・竜王町議会
編集・議会広報特別委員会

〒5200-2592 滋賀県蒲生郡竜王町小口3
☎(0748)581-3713

表紙

体育祭で学ぶ 全力の姿勢

秋の風が心地よい季節、町内の各地でさまざまなイベントが開催されています。9月21日（土）には竜王中学校の輝竜祭 体育の部がドラゴンハットで開催されました。

参加した生徒たちの元氣あふれる姿を拝見し、改めてスポーツの持つ力強さと町の未来を感じる事ができました。全力で競技に臨む子どもたちや、力を合わせて応援する生徒と保護者たち。その一体感の中に、町の絆や活力が息づいているのを感じ、わたしたちも大きな力をもらいました。



聖火入場

編集後記

今回の定例会では、町の決算審査を行い、皆さんの税金がどのように使われたかをしっかりと確認しました。来年度の事業が無駄なく進むよう、議論を重ねた内容は、今後の政策にしっかりと活かし、これからも竜王町の発展を目指して真摯に取り組んでまいります。皆さんのご意見やご要望が、町の未来をつくる大きな力となりますので、ぜひお聞かせください。これから寒さが厳しくなりますが、どうぞお体にお気をつけてお過ごしください。竜王町をより良いまちにしていけるよう引き続き努力してまいります。

議会広報特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 内山 英作 |
| 副委員長 | 橘 せつ子 |
| 委員 | 中村 匡希 |
| 委員 | 大橋 裕子 |
| 委員 | 澤田 満夫 |
| 委員 | 磯部 俊男 |



環境に配慮し、再生紙及び植物油インキを使用しています